

令和元年度(2019年度)

一般社団法人 宇部市スポーツコミッション

事業実績報告書

令和2年(2020年)3月

令和元年度（2019年度）事業実績報告書

I 総括

一般社団法人宇部市スポーツコミッションの成立後初めての通年となる令和元年度は、宇部市から独立した法人としての基礎固めを着々と進めるとともに、任意団体の財産・事業の継承及び、スポーツコミッションフェスタの拡充、あすチャレ！運動会の新規開催、新たな受託事業として子どもスポーツ夢教室を獲得し、各種事業を精力的に実施してきた。

しかしながら、スポーツ合宿やスポーツ大会誘致などのスポーツツーリズムについては具体的な成果が残せず、課題として来年度に継承していく。

また、来年度7月から9月にかけて開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、機運の醸成と共生社会の形成のための取り組みをより一層強化していく。

II 事業概要

定款第4条に掲げる5事業について、具体的に以下のとおり実施。

1 スポーツによる市民の健康増進・体力づくりに関する事業

誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、スポーツをすることで心身ともに元気な人を育てていくため、気軽に楽しむことができる参加型イベントや、体力に応じたスポーツ・レクリエーション活動を通じて、継続的にスポーツに取り組むきっかけづくりや仲間づくり、多世代交流の場を提供した。また、「する」「観る」「支える」という点から、それぞれの楽しみ方や関わり方を啓発することで生涯にわたる市民のスポーツ参画を促進した。

さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、スポーツへの関心を全市的に広げ、スポーツ実施率の向上を図った。

(1) マンスリーチャレンジデーの普及促進

毎月最終水曜日に15分運動するプログラムを普及し習慣化させるとともに、チャレンジデー参加率の向上につながる活動を行った。

①スロージョギング健康教室 in 新天町アーケードの実施

- ・開催日：4/24（水）、5/29（水）、6/26（水）
- ・参加者数：延べ40名

※5/29（水）チャレンジデー当日のみ2回開催

②新天町アーケードウォーキングの実施

- ・開催日：9/25（水）、10/30（水）、11/20（水）
- ・参加者数：延べ50名
- ・協力：南部第2高齢者総合相談センター
宇部新天町名店街協同組合

③宇部ボッチャ教室

- ・開催日：7/31（水）体験会、8/25（水）、9/25（水）、10/30（水）、
11/27（水）、12/25（水）、1/29（水）、2/26（水）、3/25（水）
- ・参加者数：延べ80名（教室生徒：12名）
- ・協力：宇部市パラスポーツクラブ

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、2/26（水）、3/25（水）は中止した。

（2）チャレンジデーの参加

笹川スポーツ財団が主催するチャレンジデーに参加し、運動習慣の意識啓発を官民連携で行い、スポーツによる健康増進・体力づくりを宇部市と連携し推進した。

- ・実施日：5月29日（水）
- ・対戦市：山形県米沢市
- ・結果：勝利（参加率：宇部市69.3%、米沢市57.2%）
- ・コミッション会員等協力プログラム数：31プログラム
- ・プログラム参加者数：延べ2,003名
- ・アワード：カテゴリー別優秀賞（初）、ベストPR賞（4年連続）

※ベストPR賞は5年連続で殿堂入り

（3）元気な人づくり促進事業

主に宇部市で活動する団体が実施する事業で、市民が身近な地域で健康づくりや共生社会づくりに取り組める機会の拡大、及び、市外・県外からの交流人口の増加につながる事業に対し、助成金の交付を行った。

これまで「健康づくり・体力づくり」に特化していたものを、「健康づくり・体力づくり」「ツーリズム」「共生社会」の三つの部門を創設し、実施した。

- ・応募件数：8件
- ・採択件数：5件（健康体力づくり部門：2件、
ツーリズム部門：2件、共生社会部門：1件）

(4) スポーツスタートプログラムの実施

平成 29 年度 (2017 年度)、平成 30 年度 (2018 年度) の 2 年間実施してきたスナッグゴルフ教室を平成 31 年度 (2019 年度) の大会まで参加後、廃止し、複数のスポーツを体験できる連続プログラム (計 10 回) として新しいスポーツ遊び教室を創設し、子どものスポーツへの関心を高めるとともに、スポーツ少年団への入団を促進した。

また、スポーツ活動に参加するきっかけづくりとして、キッズうべたんにもスポーツプログラムを企画、夏休み期間中の学童教室に人財バンクから指導者派遣を行い、スポーツ参画を促す運動遊びの実践指導の人財育成としてミズノプレイリーダー 3 級資格認定講習会を開催した。

①スナッグゴルフ教室

- ・開催日：4/6 (土)、4/20 (土)、5/11 (土) 山口県大会
- ・対象：小学生
- ・参加者数：延べ 24 名 (教室生徒：8 名)
- ・表彰：低学年部門優勝・4 位入賞、高学年部門 5 位入賞

②キッズうべたん

- ・開催期間：7/20 (土) ~8/25 (日)
- ・プログラム数：7 プログラム
- ・参加者数：延べ 126 名

③夏休み期間中の学童教室への人財バンク講師派遣

- ・派遣先学童教室：4 か所
- ・派遣講師：6 名
- ・参加者数：延べ 784 名

④ミズノプレイリーダー 3 級資格認定講習会

- ・開催日：8/26 (月)
- ・参加者数：17 名 (内、会員 3 名)
- ・協力：ミズノスポーツサービス株式会社

⑤新しいスポーツ遊び教室

- ・開催期間：8/24 (土)、8/25 (日) 体験会、9 月から全 10 回の教室を展開
- ・参加者数：延べ 82 名 (教室生徒：9 名)
- ・協力：ミズノスポーツサービス株式会社

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、3 月開催予定であった残り 3 回分の教室については来年度に延期する。

(5) スマートウェルネスシティ（以下、SWC）の推進に関する協力

宇部市が進める SWC の具体的な取り組みの中で、第 1 回健康長寿うべ市民集会の実施運営を協力し、SWC 委員会の参加、個別運動プログラムの実施拠点の検討及び調整や研修会の参加など市に協力した。

①SWC 中国・九州地区フォーラムの参加

- ・開催日：7/4(木)
- ・参加：職員 3 名

②第 1 回健康長寿うべ市民集会

- ・開催日：7/22(月)
- ・内容：講演（会長）、健康運動指導（職員）、ボッチャ体験会（職員）、健康づくりグッズ展示・販売(会員など 4 社)

③個別運動プログラム実施拠点の検討及び調整

- ・調整期間：11 月～12 月
- ・実施拠点：フィットネスクラブ HBACC、防長スイミングスクール

④個別運動プログラム指導者研修会の参加

- ・開催日：1/9(木)
- ・参加：職員 1 名、人財バンク指導者 5 名、実施拠点のスタッフ

⑤SWC 委員会の参加

- ・開催日：1/30(木)
- ・参加：会長、事務局長

⑥スポーツ庁の視察対応

- ・開催日：1/31（金）
- ・対応：職員 2 名

(6) スポーツコミッションフェスタの開催

当法人の会員や人財バンク登録講師と連携し、家族そろって新しいスポーツが楽しく体験でき身近なスポーツや運動のきっかけとなる市民参加型の体験型イベントに、新たに食やマルシェを加え実施した。

- ・開催日：10/14（月・祝）体育の日
- ・場所：恩田運動公園一帯
- ・来場者数：4,000 名
- ・プログラム数：15 プログラム
- ・協力団体数：20 団体（主に会員）

- ・キッチンカー：9台（ほぼ完売）
- ・マルシェ出店：30店舗

(7) 子どもスポーツ夢教室の開催（通常版・特別版）※宇部市からの受託事業
 子どもたちがオリンピックやトップアスリートによる体験談などの講話、技術指導等を直接受ける機会を設けることにより、子どもたちの運動・スポーツへの関心を高め、普段あまりスポーツをする機会のない子どもも含め、主体的にスポーツに親しむ習慣を身につけさせるとともに、夢や目標を持つことの素晴らしさや、それに向かって努力すること、仲間と協力することの大切さなど、子どもたちが自ら未来を切り開こうとする力を育むことを目的として実施した。

- ・開催期間：10月～3月
- ・実施校：小学校11校（通常版）、中学校2校（特別版）
 ※実施実績は小学校10校
- ・種目：サッカー、フットサル、バレーボール、バドミントン、柔道、車いすバスケットボール、デフサッカー
- ・参加人数：603名

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、2/28 万倉小学校での子どもスポーツ夢教室「車いすバスケットボール」と3/17 常盤中学校・藤山中学校での谷本歩美氏（女子柔道2大会連続金メダリスト）によるオリンピック交流イベント「夢教室特別版」は中止した。

(8) スポーツ障害予防対策セミナーの実施（中止）

スポーツの基本「ランニング」に着目し、ランナーに起こりやすい怪我を未然に予防することを目的に、ランナーのためのコンディショニングセミナーを企画。講師には多数のトップアスリートの指導実績を持つ、トップトレーナーを招聘し実施。

- ・開催日：3/14(土)
- ・講師：有吉与志恵氏（日本コンディショニング協会 会長）
- ・参加者数：36名（2/26時点）

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、2/26に中止を決定した。

2 スポーツによる交流の促進と地域活性化に関する事業

スポーツを通じて、人や地域の交流を活発にすることで、元気なまちを創っていくため、市内の多様な地域資源（自然や食など）を活かしたスポーツイベントや、観るスポーツの楽しさや魅力を伝えるためのツアーを実施した。

また、観光に関わる各主体を包括的にマネジメントする宇部観光コンベンション協会（宇部DMO）と連携し、地域資源とスポーツ、観光を組み合わせたスポーツ・ヘルスツーリズムを推進した。

（1）スポーツ・ヘルスツーリズムの開催

①スポーツうべたん 2019

- ・開催期間 : 4/2（火）～6/26（水）
- ・参加者数 : 延べ 364 名
- ・プログラム数 : 16 プログラム
- ・協力団体数 : 17 団体（会員など関係団体 11 団体、非会員 6 団体）

②宇部観光コンベンション協会との連携

- ・スポーツ合宿や大会誘致などの調整会議の実施
- ・スポーツうべたんのチラシを県内観光コンベンション協会へ送付
- ・ツアー造成研修会に職員 2 名が参加
- ・おもてなし研修会に職員 1 名が参加

（2）レノファ山口応援バスの催行

プロスポーツを観戦することにより、スポーツの興味・関心を高めた。

- ・開催日 : 11/16（土） 2019 シーズンホーム最終節
2/23（日） 2020 シーズンホーム開幕戦
- ・参加者数 : 延べ 28 名
- ・主催 : 宇部市交通局
- ・協力 : ユーピーアール株式会社

（3）元気な人づくり促進事業

ツーリズム部門 : 2 件採択（再掲）

（4）スポーツ合宿促進事業

スポーツ合宿等のため市外から訪れるスポーツ団体等を支援することにより、市内への合宿誘致を促進する。※助成上限 : 1 団体 1 回あたり 50,000 円

- ・実績：0件(3競技団体からの照会あり)

(5) ワールドマスターズゲームズ 2021 関西にあわせたツアーの検討

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西は、概ね 30 歳以上のスポーツ愛好会が参加する生涯スポーツの国際大会である。この大会のメジャーパートナーであるミズノ株式会社と協議した結果、アフター大会などの競技志向に重きを置いたツアーでは、参加者負担が大きく、参加が見込めないことが分かった。このため、本大会後宇部市の観光と市内のスポーツ愛好家との交流を組み合わせたメニューを検討する必要がある。また競技人口と交流会場の拠点を考慮した結果、対象種目としてグラウンドゴルフやソフトテニスが見込まれることも分かった。

3 スポーツによる共生社会の形成に関する事業

宇部市は、国が 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、共生社会の実現を推進するために新設した「共生社会ホストタウン」に登録されており、アートとスポーツを柱とした心と街のバリアフリー化に取り組み、誰もが生き生きと暮らせる共生社会の実現を加速していくこととしている。このため、パラリンピアンとの交流、パラスポーツの体験などを通じて、障害者スポーツの推進と理解の促進を図るための事業を展開した。

(1) あすチャレ！運動会 in 宇部の開催

障がい者に対する市民の理解と、パラスポーツへの関心を促進するとともに、2020 年に開催される東京パラリンピックに向けて機運を醸成するため、日本財団パラリンピックサポートセンターがプログラム提供している「あすチャレ！運動会」を開催した。

- ・開催日：2/11（火・祝日） 午前・午後に分けて実施
- ・対象：第一部（午前）小学生と保護者・引率者
第二部（午後）一般（企業・団体等）
- ・参加者数：12 チーム 100 名

※本イベントは（一社）宇部市スポーツコミッション設立 1 周年記念及び俵田翁記念体育館リニューアル企画として開催した。

(2) パラリンピアン交流会の開催

障がいに対する理解やパラスポーツへの親しみを深め、共生社会への関心

と理解を促進するため、パラリンピアンを招聘し、市内の小中学校で講演及び体験会などを実施するパラリンピアン交流会を開催した。

- ・開催日：2/12(水)
- ・実施校：東岐波小学校、山口大学医学部附属病院院内学級
神原中学校
- ・講師：上原大祐氏
(バンクーバー2010 冬季パラリンピックパラアイスホッケー
銀メダリスト・NEC 障害攻略エキスパート)
- ・参加者数：635名

- (3) 元気な人づくり促進事業
共生社会部門：1件採択(再掲)

4 スポーツ・健康分野の活動を担う人材育成及び確保に関する事業

年齢や障がいの有無など、多様なニーズに対応できる、スポーツ・レクリエーション指導者など、スポーツを支える人材の確保・育成、活躍の場の創出に取り組んだ。

(1) 人財バンク登録者の活用

豊富な知識と経験、専門性を有する指導者、講師等を「人財バンク」に登録し、地域や事業所に派遣した。

- ・派遣件数：41件
- ・参加者数：延べ1,844名

(2) 資格取得に対する助成金の交付

正会員及び人財バンク登録者の専門性を高め、豊富な経験を有する多様な人材を育成するため、新たな資格取得を目指す者に対して助成金を交付した。なお、助成金の交付を受け資格を取得した者は、人財バンクへの登録を条件とする。※上限：1人1資格につき 30,000円

- ・ミズノプレイリーダー3級 取得者：3名
- ・初級障害者スポーツ指導員 取得者：1名

(3) 会員及び人財バンク登録者の資質向上のための研修会の実施

正会員及び人財バンク登録者などの資質向上を図るため、実践的な運動遊

びが学べるミズノプレイリーダー3級資格認定講習会、基礎的なコンプライアンス研修会、子どもの体力の二極化などスポーツを取り巻く諸課題についてスポーツ医科学の観点から学べる子どもスポーツ活動研修会を実施した。

- ①ミズノプレイリーダー3級資格認定講習会 8/26（月）実施（再掲）
- ②コンプライアンス研修会 3/5（木）
- ③子どもスポーツ活動研修会 3/6（金）

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、②③の研修会について2/26に中止を決定した。

（4）子供の運動習慣アップ支援事業

ミズノスポーツサービス株式会社と連携し、スポーツ庁実証事業を行う予定であったが、大阪市のみでの実証事業の実施となり、実現に至らなかった。代わりにミズノプレイリーダー3級資格認定講習会を開催し、スポーツコミッションフェスタにおいて、プレーパークを実施した。

5 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

（1）情報発信

ホームページやFacebookなど社会に広く普及している電子媒体を活用して、リアルタイムに情報を効率的に発信した。更に、マスメディアや全国組織等を通じて効果的に情報を発信した。

- ・ホームページ年間訪問者数：34,873名（月毎の平均値：2,906名）
- ・Facebookページのいいね数：722名
- ・チャレンジデー授賞式でコミッション活動のPR（京都）
- ・スポーツコミッション活動調査の協力（スポーツ庁、北海道大学等）

（2）調査研究

より多くの市民がスポーツを通じて健康増進・体力づくりに取り組めるよう、事業の企画・準備・調整を進めた。また、全国の他のスポーツコミッションの取り組みや国の方針、世界的・全国的なスポーツトレンド等の情報を取り入れて、事業の改善や新たな取り組みに活用する。

- ・スポーツ庁、ミズノ、笹川スポーツ財団の関係職員との協議（東京）
- ・日本財団パラリンピックサポートセンターの関係職員との協議（東京）
- ・スポーツツーリズム関連事業所の訪問（東京）

- ・さいたまスポーツコミッションの視察（埼玉）
- ・笹川スポーツ財団主催のスポーツとまちづくりセミナーの参加（京都）
- ・ミズノ関連施設の視察（大阪）
- ・JSTA 主催のスポーツツーリズムセミナーの参加（福岡）
- ・JSTA 主催のスポーツツーリズムコンベンションの参加（金沢）

（3）その他

職員全体が組織の健全・円滑な経営感覚を持ちながら、常に予算等の進捗管理を念頭において業務に取り組むとともに、働き方改革を意識し、業務改善に努めた。